



関西国際空港 日本通運が航空貨物代理店として日本初となる定温倉庫を設置

～医薬品専用定温庫も備え、より高品質な医薬品輸送サービスの提供が可能となります～

関西エアポート株式会社は、関西国際空港内に拠点を持つ日本通運株式会社が空港内自社施設に、2021年7月26日より医薬品専用定温庫を備えた定温倉庫の設置、運用を開始することをお知らせいたします。

関西国際空港には医薬品専用定温庫「KIX-Medica」を始め、グランドハンドリングおよび航空会社上屋運営会社が医薬品専用庫を設置していますが、航空貨物代理店（フレイトフォワード）が自社医薬品専用庫を空港内に設置するのは日本初であり、本施設の設置により、関西国際空港において、より高品質な医薬品輸送サービスの提供が可能となります。

日本通運は、2017年8月に形成した KIX Pharma コミュニティの一員として、IATA（国際航空運送協会）の進める高品質医薬品輸送認証制度 CEIV-Pharma の取得も進めており、今回設置する施設もこの認証制度に含められる予定となっております。

関西エアポートグループは、引き続き、関係事業者と協力し、関西国際空港での医薬品貨物取り扱いの高品質化を進めてまいります。

■日本通運の設置する(医薬品専用)定温倉庫について

名 称：NEX-PHARMA Logistics Hub Kansai Airport

運用開始日：2021年7月26日(月)

床 面 積：568.96㎡

温 度 帯：医薬品定温エリアとして15℃～25℃、2℃～8℃に対応
5℃（冷蔵）、-20℃（冷凍）の一般品保冷エリアを併設

■KIX Pharma コミュニティについて

2017年8月にCKTS株式会社、日航関西エアカーゴ・システム株式会社、株式会社阪急阪神エクスプレス、ボロレ・ロジスティクス・ジャパン株式会社、三菱倉庫株式会社、郵船ロジスティクス株式会社、関西エアポート株式会社の7社でCEIV Pharmaの取得を通じ、関西国際空港でより安全な医薬品輸送を提供することを目的に結成されたコミュニティです。現在は、伊藤忠ロジスティクス株式会社、佐川急便株式会社、サンキュウエアロジスティクス株式会社、ジャスフォーディングジャパン株式会社、ディエスヴィ・エアーシー株式会社、日本通運株式会社、株式会社日立物流バンテックフォーディング、株式会社平野ロジスティクス、三井倉庫エクスプレス株式会社の9社が加わり、現在16社のコミュニティ。



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション

Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運營業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において45空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構